

平成25年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495600163	事業の開始年月日	平成23年2月1日
		指定年月日	平成23年2月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター麻生黒川		
所在地	( 215-0035 ) 神奈川県川崎市麻生区黒川 2 7 - 1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成25年8月15日	評価結果 市町村受理日	平成25年12月26日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成23年2月に開設された明るい色調のホームです。フロアは明るく、窓からは電車やバス、自動車、人の往来が見渡せます。  
裏に広々とした庭があり共同作業で野菜や花を育てています。  
ご入居者お一人おひとりの意志が生活に反映するよう、また其々のペースで暮らしていただけるようご入居者様本位を基本中の基本としています。  
電車を利用しての外出、個別外出など外出支援を幅広く行なっています。  
また、安全に暮らしていただけるよう夜間帯の避難訓練を3ヶ月毎に実施しています

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8F		
訪問調査日	平成25年9月6日	評価機関 評価決定日	平成25年11月15日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

**【事業所概要】**  
この事業所は小田急線黒川駅から徒歩5分で、自然や農地が残る黒川街道に面している。駅周辺には児童公園やマイコンシティという工業団地があり、街道沿いには小規模な商店が点在する。建物は認知症高齢者の快適生活を支える設計で設備も整備され、安全で明るい共用部分や居室が整えられている。要介護認定平均1.5という元気な方が多い。「利用者本人が力を出し役割を持って自分らしく暮らす」ことを基本方針に謳い、寄り添う介護を実践している。  
**【一人ひとりの生きる喜びを大切にしたい支援】**  
職員全員が利用者一人ひとりのモニタリングを行い、希望や想いの把握に努めている。自分で出来そうなことには職員が過剰に関わらず、利用者が自分らしく暮らすことのできるよう個別支援計画を作成し、日常生活に反映させている。アクティビティでは、馴染みのパソコンを使ったり、縫物をしたり、懐かしのメロディーを聞くなど本人に合わせた支援を行っている。食事づくりや清掃など日常の家事も利用者が積極的にに関わり、暮らしの喜びを味わえるよう一人ひとりの行動や気持ちを大切にしたい支援を実践している。  
**【電車を使う外出や毎日の散歩】**  
駅に近いことを活かし、車いすを利用している方も含む利用者全員が毎月1回電車に乗り、新百合ヶ丘の多摩センターなど周辺都市への買い物や食事に出かけている。街の変化や動き、勤労者、学生、子ども達の元気な姿に出会うなど沢山の刺激をもらい心の活性化につなげている。暑い夏でも麦わら帽子をかぶり夕方の涼しい時をねらって、周辺地域の自然に触れる散歩を毎日行っている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチケアセンター麻生黒川
ユニット名	1 F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設時職員全体で作った理念を毎朝唱和している</li> <li>・カンファレンス時は理念に立ち返り実践するよう取り組んでいる</li> </ul>	開設時の職員全員で作成した理念・基本方針を毎日唱和し、確認している。ミーティングやカンファレンスでは、理念・方針に立ち返り、課題の解決に向けた取り組みをしている。「利用者が自分らしく暮らす」という理念が日々の活動に反映されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に所属し、回覧板でホームの行事にお誘いしている</li> <li>・近所のスーパーやコンビニを利用し、道行くご近所さんとも挨拶を交わしている</li> </ul>	町内会の特別会員として会費を納め、清掃活動に参加したり、回覧板から各種の地域情報を得てイベントに参加している。神社の祭りで獅子舞がホームに来てくれる。隣地の農家から野菜を購入している。コンビニや商店との交流は日常的に行われている。習字やフラワーアレンジメント、大道芸等のボランティアの来訪があるが、学校や保育園等との交流はまだない。	学校や保育園・幼稚園などへ積極的アプローチし、より豊かな地域とのつながりを持つことが期待されます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方がグループホームってどういう施設ですか？と見学にみえたりしている</li> </ul>		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月毎に活動状況を報告している</li> <li>・事故報告なども行い、意見をいただいたりしている</li> <li>・自己評価についても報告をおこなっている</li> <li>・会議内容は職員全員で共有している</li> </ul>	運営推進会議は町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族会会長、管理者の5人が出席し、2か月に1回定期的に開催している。議題は活動報告・次期予定、事故報告、外部及び自己評価、情報交換である。ホームの祭りや防災訓練への参加を依頼したり、介護保険制度やグループホームについての質問に答えている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・保険制度などで分からない点事故報告等について電話で教えて頂いている	市高齢者支援課には、介護保険の料金制度や事故報告書の記載要領等について相談している。市と相談のうえ東北大震災の被災者を受け入れた経緯がある。他ホームの火災後には、消防署からの立ち入り調査があり、避難に要する時間を検証し、安全性を確認している。区が行う健康体操には利用者が参加している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・玄関の施錠は行っていない ・拘束廃止委員会を定期的に開催し、内容を全職員が共有している ・職員が常に行動制限を意識して拘束の無いケアに取り組んでいる	拘束廃止委員会を隔月に開催し職員へ報告、議事録を事務所へ掲示し、身体拘束・行動制限排除の意識の徹底を図っている。「・・・してください」という指示語の廃止や、利用者の「出て行きたい」という気持ちを理解し付き添うなど、見張ることのない認知症ケアの実践に努めている。災害時への対策もあり、玄関は夜を除き、非常口も含めすべての窓・ドアの施錠はしない。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・全職員が年に1度高齢者虐待防止の研修を受けている ・管理者は介護施設の職員として虐待を発見した場合の対応、会社としての姿勢を職員に徹底している		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・入居者に成年後見人がつく場合もあるが、開設以来そのケースが無く職員は学ぶ機会を得ていない ・管理者は学んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約には十分な時間をとり説明を行っている</li> <li>・解約においてはご家族の相談に乗り今後のことも共に考えるようにしている</li> </ul>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に介護相談員を受け入れ、お話を聞いてもらえる機会を設けていた</li> <li>・外部評価、お客様満足度調査でのアンケート、家族会での意見交換等でのご意見を吸い上げている</li> </ul>	<p>日常的な家族の訪問時や、家族が自主的に運営している年2回開催の家族会、家族会会長が出席する運営推進会議で、意見や提案を述べる機会を作っている。外部評価での利用者家族等アンケート及び運営法人が主導するお客様満足度調査のアンケートを実施している。その中で職員のケア技術の標準化への提案を頂き、改善に結びつけるOJT・研修を行っている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の各ユニットでのミーティング、必要時の1・2F合同ミーティングで意見交換、提案などを行い改善に向けている</li> <li>・管理者は年に2回の面談の際にも意見や提案を聞いている</li> </ul>	<p>日常の業務や各フロアで行う毎月のミーティング、1、2階合同会議で職員の意見や提案を聞いている。年2回行う職員面談の際には、業務・人間関係・技術向上について意見や要望を聞き、休憩時間の改善を図るなど職員の意見を運営に反映している。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は個人面談を年に2回実施し職員の話をしている いつでも相談しやすい心がけている</li> <li>・各人が目標を持って働いている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内的には入職時の研修、キャリアアップ制度などスキル向上のため研修制度がある</li> <li>・社外的にはGH協会の研修などに仕事の一環として参加してもらっている</li> <li>・研修の年間計画を決め、毎月OJTを実施、スキルの向上に努めている</li> <li>・お勤めの外部研修があった場合にはパンフレットを掲示し参加を促している</li> </ul>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去には他のGHとの交流があったが、最近は行なわれておらず、今後相互訪問等おこなっていききたい</li> </ul>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス開始前にアセスメントを確認しご本人のニーズを確認している</li> <li>・笑顔の挨拶から始め、個別にもお話を伺うようにし、安心していただけるよう努めている</li> <li>・コミュニケーションが取れるような散歩の機会などを作り関係作りに努めている</li> </ul>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のご家族の思いを受け止められるようゆっくりお話を聞く時間を作るよう心がけている</li> <li>・心をこめた挨拶や話しやすい環境を作り、不安をなくしていただけるよう努めている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントや面談の中でご本人とご家族が必要としている支援内容を確認している</li> <li>・医療連携のほか、ケースによって訪問マッサージ等も取り入れている</li> </ul>		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・其々の能力に応じ職員と共に家事全般に関わっていただいている</li> <li>・料理や畑仕事・アクティビティなどでご入居者の知恵をお借りするなど暮らしを共に支えあうことができるよう努めている</li> </ul>		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の来訪時には日頃の生活についてお話し、意見を伺うなどしている</li> <li>・可能な限りご家族の協力をお願いし共に支援をしている</li> <li>・ご本人との時間をとっていただけるようお勧めしている</li> </ul>		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケアによりご本人の馴染みの場所に出かけたりしている</li> <li>・馴染みの方が訪ねやすいようアットホームな雰囲気作りを心掛けている</li> </ul>	昨年度末に職員全員で、利用者への個別支援を重視したアクティビティ活動の年間計画を作成した。昔からの趣味道具を購入するため、電気器具店や生地の店などへ職員が付き添い出かけている。年賀状や手紙、電話、来訪者の受け入れなど、馴染みの人との関係継続の支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご入居者様同士でやってあげたりされたりお互いを思いやっている</li> <li>・仲の良い方達でおしゃべりに花を咲かせたりしている</li> <li>・反面少人数の共同生活の中で反目しあったり、どうしても協調が出来無い方もいらっしゃるが、共に散歩に行ったりアクティビティを行なう中で孤立することのないよう支援に努めている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移転先での心配事などの相談に乗るなど支援に努めている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の会話の中から思いを汲み取るよう努めている</li> <li>・言葉に表れない思いも表情や行動から把握するよう努めている</li> <li>・どんな時も本人本位を基本に置くようにしている</li> <li>・時にはゆっくり1対1でお話を伺っている</li> <li>・個別ケアの際ご本人の思いを伺い、希望に添った外出を支援したりしている</li> </ul>	<p>アセスメント等を通じて、その人らしい暮らしを続けるため思いや意向の把握を行っている。気持ちの把握が困難な方は、様子や行動を注視し、本人の立場で検討している。家族や医者、以前利用していた事業所の関係者からも情報を得て、課題の抽出を行い、本人の望む生活スタイル・自立に向けた方策を検討している。</p>	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントをしっかり読み込むようにしている</li> <li>・ご本人やご家族との会話の中からこれまでの暮らしを把握するよう努めている</li> </ul>		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時は24時間シート、その後は日常支援シートを活用して現状を把握するよう努めている</li> <li>・介護記録・申し送り等で心身状態の変化についての情報を共有している</li> <li>・活動チェック表を使用し活動にムラがないか、ご入居者様によって偏りがないかを日々チェックしている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングは3ヶ月ごとに全職員で行いご本人の話を必ず伺うようにしている</li> <li>・カンファレンスでは全職員が意見を出し合いご家族の意見も反映し現状に即した介護計画となるようにしている</li> <li>・訪問看護ステーション、訪問マッサージの職員に意見を聞いたりして介護計画に反映させている</li> </ul>	<p>管理者と計画作成担当者がアセスメントを行い、各利用者には全職員がモニタリングを行っている。家族や医師、関係者の助言を得て、カンファレンスを毎月実施し、個別支援計画を作成している。24時間生活シート及び日常支援シート、介護記録、モニタリングシートに実際の介護や生活状況を記録し状況把握を行い、計画に反映させている。計画は3か月に1度見直しを行っている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護記録を書く際に各ご入居者様の目標を再確認できるように支援シートをファイリングし、介護計画に沿った記録を書くよう心掛けている</li> <li>・職員は業務開始前に介護記録、業務日誌、申し送りノートを読んでから業務に入るようにしている</li> <li>・大事なことは記録だけでなく口頭でも申し送るようにしている</li> <li>・各ユニット間の情報は夜勤者が朝に申し送りを行い伝えている</li> </ul>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・其々の入居者、家族の状況に対応し、ほぼ毎月個別、もしくは希望者を募っての外出支援をおこなっており、参加者よりとても良かったとの感想もあった</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のように地域のスーパーやコンビニに買物に行きお店の方と挨拶をし顔なじみになっている</li> <li>・散歩中に近所の方と気軽に挨拶をおこなっている</li> <li>・近所の神社のお祭りに参加、初詣にも行っている</li> <li>・地域の清掃デーに参加している</li> <li>・地域の公園で行なわれている福祉課主催の体操に参加しているご入居者もいる</li> </ul>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人及びご家族の希望によりかかりつけ医を決めていただいている</li> <li>・協力医院以外のかかりつけ医にも必要な情報伝達を行い適切な医療を受けられるよう支援している</li> </ul>	<p>協力医療機関として内科医が2週間に1回、歯科医が毎週訪問診療を行っている。訪問看護師が毎週来訪し、健康管理を行っている。約半数の利用者がかかりつけ医を受診しており、原則家族が付き添い、受診情報はホームに報告して貰っている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週訪問看護ステーションより看護師が訪問 1週間で気づいた点などを報告 入居者が適切な受診を受けられるよう支援している</li> <li>・ご入居者様も顔なじみのナースに何でも話せている</li> </ul>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急入院時に対応できるよう健康状態、かかりつけ医、薬の内容などがすぐわかるよう書類を整備している</li> <li>・適切なサマリーを提供できるよう努めている</li> <li>・入院時は面会に行き病院関係者から現状を聞くなどおこなっている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居の段階で終末期に向けた方針の説明を行なっている</li> <li>・訪問看護ステーションやかかりつけ医、包括支援センターや近隣事業所とも連携し必要な支援が出来るよう取り組んでいる</li> </ul>	<p>重度化対応や看取りに関する指針を示し、入所時に同意書を得ている。医療連携体制を整えており、利用者や家族の意向の基に重度化や終末期を迎える支援を行うこととしているが、現在実績はない。職員への研修も模索中である。</p>	<p>重度化や看取りに向けた準備として、看取り介護技術やホスピスケア・家族への心のケアなど職員の研修を実施していくことが望まれます。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は急変時の対応についてのOJTを毎年受けている</li> <li>・管理者は面談などで急変時どのような対応をするか個別に指導を行なっている</li> </ul>	/	
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回防災訓練を実施。その際にはご近所の方、町内会長、民生委員にも参加していただいている</li> <li>・3ヶ月毎に夜勤想定避難誘導訓練を実施している</li> </ul>	<p>通報・避難誘導・初期消火の災害訓練を年2回、消防署員や地域住民の参加を得て実施している。職員による夜間想定避難誘導訓練を3か月に1度行っている。災害時の地域との協力体制については、運営推進会議でお願いしているが、文書化はされていない。水や食料品の3日分、簡易トイレ等の生活必需品の備蓄がある。</p>	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の人格を尊重すると共に指示語を使用しないよう徹底している</li> <li>・整容、入浴、排泄ではプライバシーに十分な注意を払っている</li> <li>・尊敬の気持ちを忘れず、馴れ馴れしい言葉遣いにならないよう努めている</li> </ul>	<p>利用者の人権を尊重することを大切にしており、職員の考えの押しつけや馴れ馴れしさのないように、ミーティングや申し送りで行なっている。プライバシーや個人情報保護の研修を行い、トイレや浴室のドアやカーテンを閉めることや、大きな声かけをしないことに配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己決定していただけるよう指示語は使用しないように徹底している</li> <li>・傾聴に努め真意を受け止められるよう努めている</li> <li>・疑問形で問いかけることにより自己決定しやすい環境になるようしている</li> </ul>		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の作ったスケジュールにご入居者様を合わせてしまうことがない様努めている</li> <li>・お部屋で一人で過ごされたり数人で居室でお話されたり自由に過ごされている・日中寝てしまうことが多いご入居者様にはほんの少しの元気な時間を見つけ散歩にお誘いしたりしている</li> <li>・日中何度も外へ出る方にも職員で協力しあいご入居者様優先で対応している</li> </ul>		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴、更衣の際ご本人と話をして服を決めていただいている</li> <li>・外出の際などはおしゃれが楽しめるようお手伝いしている</li> <li>・毎朝下着の交換をしていただくなどして身だしなみ整えていただいている</li> <li>・訪問美容を利用し定期的に髪のアイルも整えている利用者が多い</li> </ul>		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物、調理は其々のご入居様の力に応じ職員と共に行なっている</li> <li>・職員が共に食事し会話を交え楽しい時間となっている</li> <li>・後片付けはご入居者が中心となって行われている</li> </ul>	<p>食材やメニューについては半分は業者に委託し、他は利用者と相談しながらメニュー決めや買い物を行い、一緒に調理している。利用者の力を引き出し役割を持つことを大切にし、盛り付け、配膳、食事の片づけはほとんど利用者が行っている。月1回の外食、1、2階合同の食事会が行われている。職員が利用者と同じのものを食すことはしていない。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日1,500Kcalの献立を基本としている</li> <li>・ 1日の水分量が1,500cc以上確保できるよう時間に捉われず活動の後は色々な種類の飲み物を提供しチェック表で管理している</li> <li>・ 体重の増加には低カロリー食品での対応をおこなっている</li> </ul>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起床時と毎食後に声かけして口腔ケアを行なっていただいている</li> <li>・ ご本人だけでは難しい歯間や奥歯などは職員がお手伝いしている</li> </ul>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排泄のパターンや心身状況などを考慮し失敗が減るよう支援を行なっている</li> <li>・ 記録をつけ、時間などで誘導するケースもある</li> </ul>	<p>リハビリパンツを使用している方や誘導が必要な方はいるが、全員が自立している。トイレの場所を分かりやすい形で表示したり、また、誘導を行うことによりホームに入所してから改善につながっている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日散歩、体操を欠かすことのないよう支援している</li> <li>・ 便秘が精神的な不安定をもたらす一因であることを理解し排泄の記録を共有し予防に努めている</li> <li>・ 十分な量の水分摂取のために色々な飲料を用意して提供している</li> <li>・ 毎食後ヨーグルト、プルーン、バナナを提供している</li> </ul>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご本人から希望があるときはその都度入浴していただいている</li> <li>・ 入浴時は職員とゆっくり話をしたりリラックスしていただいている</li> </ul>	<p>入浴は原則週2回であるが、希望があればそれ以上でも可能である。同性介助にも対応している。入浴を希望しない人には、言葉や時間を変えて対応しているが、清潔を保てる範囲内で無理強いはいないようにしている。入浴時は1対1でゆっくりと話し合え、心を解きほぐす時間となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝、起床、消灯時間はホームとして決めておらず、それぞれの方のその時々状況で休んでいただいている</li> <li>・お昼寝をされる方もいらっしゃる</li> <li>・夜間は職員がいることをお伝えして安心して眠れるよう支援している</li> </ul>		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬管理表を使用し、複数での確認で誤薬の発生を防いでいる</li> <li>・管理表に薬の説明書をセットし、効能、副作用を把握するようにし、症状の変化の際には医療連携先に相談するなどしている</li> </ul>		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職歴や趣味を知り、それを生かした役割や活動をしていただけるよう支援している</li> <li>・暮らしに張りを持っていただけるよう多様な活動の場を提供している</li> <li>・活動表を利用し、活動や役割への支援が出来ているかのチェックをおこなっている</li> </ul>		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩、買い物は希望に添ってほぼ毎日行われている</li> <li>・年間に4回ほどはホーム全体で遠出の外出を企画、ご家族にも協力をお願いしている</li> <li>・毎月、1～2回は電車に乗っての外食やファミレスでお茶などの外出を行っている</li> <li>・本人の希望に添った個別外出や、希望者をつのっての外出支援をおこなっている</li> </ul>	散歩は毎日、車いす利用者も含め全員が行っている。暑い夏場でも麦わら帽子をかぶり、夕方になると出かけ、外の空気を味わっている。駅に近いこともあり、電車を利用してのお花見、バラ園・アジサイ見物、買い物、外食などが毎月行われている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物の際には商品を選ぶところから支払いまで出来る方にはいただいている</li> <li>・小銭を持っている方もいらっしゃる</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の希望で自由に電話を掛けられるようお勧めしている</li> <li>・手紙のやり取りをされている方もいらっしゃる</li> </ul>		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルには季節の花を飾り、壁には行事の写真や、塗り絵、俳句などの作品を飾っている</li> <li>・玄関前にも季節の花をプランターで並べている</li> <li>・温度・湿度はご入居者の感想を聞きこまめに調整を行なっている</li> </ul>	玄関アプローチには季節の花が咲いている。バリアフリーで、明るいリビング、和室、キッチン、トイレ、浴場、廊下、居室と動線の良い設計で、設備が整備されている。庭の花、利用者の習字や短歌、行事の写真など生活色を大切にしている。裏庭の畑にはナスやキュウリ、ゴーヤを植え、ジャガイモの収穫を皆で楽しんでいる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルの他に和室が用意されている</li> <li>・テーブル席は気の合う方と話がしやすいよう配慮されているが、食事時間以外は自由に行き来されている</li> </ul>		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室の家具は使い慣れたものをお持ちいただき、仏壇やパソコンなども置かれている</li> <li>・写真など飾られ居心地の良いお部屋になっている</li> </ul>	照明、カーテン、クローゼット、エアコンは事業所が設置しているが、他はすべて利用者と家族が、好みの家具やテレビ等の備品を持ち込み、心地の良い居室になっている。清掃は利用者と職員が一緒に行っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内部はバリアフリーで手すりも全面に設置されている</li> <li>・キッチンは高齢者が作業しやすい設備となっている</li> <li>・トイレや居室が分かりやすいよう工夫している</li> </ul>		

事業所名	ニチイケアセンター麻生黒川
ユニット名	2 F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・開設時に全職員で考え作った理念、及び基本方針をを毎朝の夜勤者申し送り時に唱和している		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・近くの神社の初詣やお祭りに出かけて町内の方々と交流している ・近所のスーパーやコンビニを利用し、道行くご近所さんとも挨拶を交わしたり、近隣の畑の野菜を収穫時にいただいて食事に提供している		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方がグループホームってどういう施設ですか？と見学にみえたりしている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・2ヶ月毎に活動状況等を報告するとともに。地域の情報をいただいたり、意見やアドバイスも受けている ・会議の内容はスタッフルームに掲示し、全職員に報告している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保険制度などで分からない点や事故報告等について電話で教えて頂いている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より定期的に拘束廃止委員会を実施して、全職員が意見を出し合い、理解を深めている</li> <li>・非常口ドアや居室窓の開錠、言葉の問題など、職員が問題提起して取り組んでいる</li> </ul>		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTで全職員が研修</li> <li>・日頃より入居者の身体状況や様子に注意し、万が一の場合にも迅速に対処できるように心がけており、その基本として高齢者虐待防止マニュアルをいつでも見れるようにしている</li> </ul>		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者に成年後見人がつく場合もあるが、開設以来そのケースが少なく職員は学ぶ機会が少ない</li> <li>・管理者は学んでいる</li> </ul>		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約には十分な時間をとり説明を行っている</li> <li>・解約においてはご家族の相談にのり、今後のことも共に考えるようにしている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価、お客様満足度調査でのアンケート、家族会での意見や要望等を吸い上げている</li> <li>また介護相談員を受入れ、入居者のお話を聞いていただく機会も設けていた</li> </ul>		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月各ユニットや合同でのミーティング時に意見を出し合うようにしている</li> <li>また年度末にはアクティビティ企画会議を開き、職員の提案を受け、年間の活動計画を立てている</li> </ul>		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者は個人面談を年に2回実施し職員の話聞いていつでも相談しやすいよう心がけている</li> <li>各人が目標を持って働いている</li> </ul>		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内的には入職時の研修、キャリアアップ制度などスキル向上のため研修制度がある</li> <li>社外的にはGH協会の研修などに仕事の一環として参加してもらっている</li> <li>研修の年間計画を決め、毎月OJTを実施、スキルの向上に努めている</li> <li>お勤めの外部研修があった場合にはパンフレットを掲示し参加を促している</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去には他のGHとの交流があったが、最近では行なわれておらず、今後相互訪問等おこなっていききたい</li> <li>・社内のGHで定期的にリーダー勉強会があり、その内容等をミーティング時に報告している</li> </ul>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント情報を確認しながら、ご本人の状況や希望などを掴むようにしている</li> <li>お話を聞いたり、触れ合える時間をできるだけ作り、安心して暮らしていただけるよう努めている</li> </ul>		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい挨拶や受け答え等をしっかり実践し、職員に対して話しやすい雰囲気作りを心がけている</li> </ul>		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントや面談をもとにカンファレンスを行い、ケアの方針を決め実行に移している</li> <li>・またニーズや必要に応じて往診医、訪問歯科、訪問マッサージ等も利用できるようにしている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・炊事、洗濯、掃除、畑仕事、裁縫、日曜大工等々、入居者各々の持つ“力”を発揮してもらいながら、職員と一緒に生活を営んでもらっている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・ご家族が来られたときは日常の様子をお話したり、要望なども伺うようにしている</p> <p>・またお便りとして近況をお伝えしたりしている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・ご自宅近くの商店や美容院等なじみの所への外出等もご家族と相談しながらすすめている</p> <p>・ご友人やお孫さんたちも気軽に来られ、かつ和めるような雰囲気作りを心がけている</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・入居者の性格や相性等を理解した上で、フロア席やアクティビティの組合せを工夫している</p> <p>・食事の準備、後片付け、清掃など互いに協力し合えるような機会を作るようにしている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・退所したケースが少ないが、ご本人やご家族の要望があれば支援していき</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>・定期的にモニタリングを行い、ご本人の声を直接聞くようにしており、普段からも会話を心がけながら、様子や行動等からも汲み取るようにしている</p>		
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・アセスメントを確認しながら、ご家族からの情報やご本人のお話から掴むようにしている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>入居者と接する中で状況や変化等をキャッチすると同時に、日々の業務日誌、支援記録、申し送り、連絡ノート等から職員間でしっかりと把握するようにしている</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人からお話を聞き、それをもとにカンファレンスし、職員全体で意見を出し、ケアを考えていくようにしている</p> <p>・家族の意向、医療関係の情報もケアプランに反映させている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務開始前に介護記録、業務日誌、連絡ノートに目を通し、送りして業務に入るようにしており、入居者状況を常に把握するようにしている</li> <li>・また、連絡ノートにはケアに関する職員の意見やアイデア等を自由に記入するようにしている</li> </ul>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>其々の入居者、家族の状況に対応し、ほぼ毎月個別、もしくは希望者を募っての外出支援をおこなっており、参加者よりとても良かったとの感想もあった</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のように地域のスーパーやコンビニに買物に行きお店の方と挨拶をし顔なじみになっている</li> <li>・散歩中に近所の方と気軽に挨拶をおこなっている</li> <li>・近所の神社のお祭りに参加、初詣にも行っている</li> <li>・地域の清掃デーに参加している</li> <li>・地域の公園で行なわれている福祉課主催の体操に参加しているご入居者もいる</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人及びご家族の希望によりかかりつけ医を決めていただいている</li> <li>・協力医院以外のかかりつけ医にも必要な情報伝達を行い適切な医療を受けられるよう支援している</li> </ul>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週訪問看護ステーションより看護師が訪問 1週間で気づいた点などを報告 入居者が適切な受診を受けられるよう支援している</li> <li>・ご入居者様も顔なじみのナースに何でも話せている</li> </ul>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急入院時に対応できるよう健康状態、かかりつけ医、薬の内容などがすぐにわかるよう書類を整備している</li> <li>・適切なサマリーを提供できるよう努めている</li> <li>・入院時は面会に行き病院関係者から現状を聞くなどおこなっている</li> </ul>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居の段階で終末期に向けた方針の説明を行なっている</li> <li>・訪問看護ステーションやかかりつけ医、包括支援センターや近隣事業所とも連携し必要な支援が出来るよう取り組んでいる</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・職員は急変時の対応についてのOJTを毎年受けている ・管理者は面談などで急変時どのような対応をするか個別に指導を行なっている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年に2回防災訓練を実施 その際にはご近所の方、町内会長、民生委員にも参加していただいている ・3ヶ月毎に夜勤想定避難誘導訓練を実施している		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・常に敬いの気持ちを持って接するようにしている ・拘束拘束廃止委員会でも言葉や態度の問題を取り上げて勉強している		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・職員側の思い込みや決めつけでなく、ご本人の意向をお聞きして行動するようにしている ・できる限り選択しやすく、表現しやすい言葉かけを工夫したり、居室等話しやすい場所で伺うようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・午前中に入浴希望される方、朝ゆっくり起きたい方、散歩は一人でしたい方、お昼寝したい方など、それぞれの方の生活ペースを考えながら対応している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝、鏡の前でブラッシングや化粧水をつけたり、スカーフを巻いたり、それぞれのお洒落をサポートしている ・また訪問美容を利用する他、美容院に出かけてスタイリングされる方もおられる		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・毎日交代でキッチンに入り、料理を作ったり、盛付け、配膳、食器片付け等、ほとんどの入居者の方に関わってもらっている ・それぞれの方の得意料理を作ってもらうこともある ・立位の難しい方にはテーブル席で下ごしらえ、盛付け、食器拭きなどをしていただいている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・血糖値や中性脂肪の高い方、心不全の方などには個々にカロリーや塩分を抑えたり、常に体調や食事状況などを確認して対応している ・夏期は水分表を作り、それぞれの方の目標値を決めてサポートしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床時と毎食後に口腔ケアをしていただいている</li> <li>・ご自分だけではうまく磨けない方や義歯洗浄をお手伝いしている</li> </ul>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄の状況やパターンをチェックし、その対応策をカンファレンス等で話し合い、実行していくようにしている</li> <li>・タイミングを計って誘導したり、スムーズな排泄へとサポートしている</li> </ul>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が便秘がもたらす精神的、身体的な影響を理解するようにしている</li> <li>・毎日散歩や体操で身体を動かし、牛乳、ヤクルト、バナナ、プルーン等を活用して、薬に頼らないケアに努めている</li> </ul>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に応じて、お好きな時間に入浴できるよう配慮している</li> <li>・また希望や状況に合わせてシャワー浴、清拭、洗髪等の対応も行っている</li> <li>・入浴はお一人ごとに湯を張り替え、気持ちよくゆっくり入っていただくようにしている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝や起床時間は設けず、それぞれのペースで生活できるようにしている</li> <li>・日中も自由に休んでいただき、お昼寝する方も多い</li> <li>・夜間は安心して就寝できるような声かけや雰囲気作りを心がけている</li> </ul>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬管理表にセットした薬の説明書に常に目を通すようにし、薬の内容、副作用などを確認するようにしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、職員が服薬させるのではなく、ご入居者が服薬するのをお手伝いするという基本を心がけている</li> </ul>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌が好き、草花が好き、甘いものが好物といった趣味嗜好等を知り、それを活かしたアクティビティ等の支援につなげている</li> <li>・またお酒の好きな方は晩酌も楽しんでいただいております、お酒は散歩がてらご自身で買いに行かれています</li> </ul>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩や買物は希望に添ってほぼ毎日行っており、月に1回は電車に乗って外食にもかけている</li> <li>・個人の希望によってはデパートに行き、買物や食事をしたりするなどの支援も行っている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯磨き、お菓子など身近な買物では、ご自身のお金（お預かりしているお小遣い）で支払っていただいている</li> <li>・ご自身でお金を所持、管理している方もおられる</li> </ul>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由にご家族などに電話をかけられるようにおすすめている</li> <li>・携帯電話を所有している方もおられる</li> </ul>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り職員と入居者が一緒に清掃したり、片付けたりして明るく清潔な環境づくりを心がけている</li> <li>・季節の花や飾りつけ、写真展示やそれぞれご自慢の作品を飾ったりしている</li> </ul>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下に椅子などをセットし、ちょっとひと息のコーナー作りをしている</li> <li>・和室も自由に使えるようにしており、合同での食事会などでも気の合う方々が活用して楽しまれている</li> </ul>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室の家具や装飾類は使い慣れたものをお持ちいただき、化粧台やテレビなどを活用されている方もおられる</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内部はバリアフリーで手すりも全面に設置されている</li> <li>・キッチンは高齢者が作業しやすい設備となっている</li> <li>・トイレや居室が分かりやすいよう工夫している</li> </ul>		

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケセンター麻生黒川

作成日 2013年12月10日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	学校・幼稚園・保育園などとの交流が行なわれていない	地域との繋がりの一環として、地域の学校などとの交流を図る	地域の学校等を訪問し交流を企画する	1 年
2	10	介護計画に即したケアの提供による入居者の機能の維持が十分でない	入居者の機能を落とさない自立支援のケアを徹底していく	介護力向上委員会を中心に職員のスキルの向上を目指し自立支援のケアを実践していく	1 年
3	12	重度化・看取りに向けての研修が未実施である	重度化・看取りについて職員が一定のスキルを身につける	研修・勉強会の実施	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。